

令和6年度

安曇野市水道事業会計
安曇野市下水道事業会計
事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

目 次

令和6年度 安曇野市水道事業会計 当初予算

原水及び浄水費（上水道課 維持係）	2
配水及び給水費（上水道課 維持係、管理係）	3
総係費（経営管理課 庶務担当）	4
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	5
資産減耗費（経営管理課 庶務担当、上水道課 管理係）	6
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	7
消費税及び地方消費税（経営管理課 庶務担当）	8
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	9
その他特別損失（経営管理課 庶務担当）	10
配水設備工事費（上水道課 工務係、維持係）	11
量水器費（上水道課 管理係）	12
改良費（上水道課 管理係）	13
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	14

令和6年度 安曇野市下水道事業会計 当初予算

管きよ費（下水道課 下水道担当）	16
処理場費（下水道課 下水道担当）	17
浄化槽費（下水道課 下水道担当）	18
農業集落排水費（下水道課 下水道担当）	19
受託工事費（下水道課 下水道担当）	20
総係費（経営管理課 庶務担当）	21
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	22
資産減耗費（経営管理課 庶務担当、下水道課 下水道担当）	23
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	24
消費税及び地方消費税（経営管理課 庶務担当）	25
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	26
その他特別損失（経営管理課 庶務担当）	27
管きよ工事費（下水道課 下水道担当）	28
農業集落排水工事（下水道課 下水道担当）	29
流域下水道事業費（下水道課 下水道担当）	30
排水設備工事費（下水道課 下水道担当）	31
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	32

安曇野市水道事業会計

課・係等 上水道課 維持係

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	原水及び浄水費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	425,318					425,318
前年度	349,616					349,616
増減額	75,702	0	0	0	0	75,702

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・深井戸からくみ上げた地下水に法令に基づき滅菌剤を添加し、配水池に貯水します。
- ・定期的に水質検査を実施して水質の管理に努めるとともに検査結果を市のホームページに公開します。
- ・水道水の安定供給が出来るよう中央監視システムのデータを基に水源施設の運転管理や施設維持管理に努めます。

【効果】

- ・水質検査結果の公開により、水質の安全性や検査内容の確認ができ、利用者が安心して使用できます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・水源施設におけるポンプ設備の経年劣化部品の交換等計画的な改修・診断を行い、取水の安定性を高めます。
- ・水質検査は、原水・浄水の全項目検査を実施し、水質監視に努めます。
- ・配水池内の清掃を計画的に行い、安心して快適な水道水の供給に努めます。

【一般財源増加理由】 水道施設電気料の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	備消耗品費	66	水源地管理用品				
10	光熱水費	48	下水道使用料				
13	委託料	26,784	水質検査業務等、水道施設除草業務、配水池不断水清掃点検業務、電気料ESP業務サービス等				
14	手数料	99	ハチの巣除去				
16	修繕費	5,500	施設設備修繕				
31	動力費	386,694	水道施設電気料				
32	薬品費	6,127	次亜塩素酸ナトリウム				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水質検査業務	水道法の規定に基づき水質検査計画を策定し実施します。安全で安心な飲料水を供給することができます。	13	委託料	13,774
					計	13,774
					計	0

課・係等 上水道課 管理係 維持係

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	配水及び給水費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	268,898					268,898
前年度	252,168					252,168
増減額	16,730	0	0	0	0	16,730

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・常時監視システムにより配水・送水施設を維持管理し、各家庭への安定的な水道水の供給に取り組みます。
- ・漏水調査を実施し、漏水損失の減少を図ります。
- ・各種調査やデータ収集により施設の状況把握に努めます。

【効果】

- ・漏水による流失を防ぐことにより、安定した水道水の供給が可能となり、動力費等の節減が図れます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・穂高地域の漏水調査を行います。
- ・地図情報システムのデータ更新を行います。
- ・検満メーターの計画的な交換を行います。
- ・配水施設の的確な維持管理を行います。
- ・配水管等の破管修理を迅速かつ的確に行います。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
6	旅費	896	職員研修・出張旅費等	15	賃借料	1,023	水道施設用地等賃借料、積算システム利用料等
8	備消耗品費	1,153	配水・給水関連消耗品、水道水ペットボトル、公用車タイヤ等	16	修繕費	66,440	検定満期量水器修繕、給配水管修理、車検等整備代等
9	燃料費	1,059	公用車燃料代	19	保険料	691	公用車自動車共済、自賠責保険料、建物共済
11	印刷製本費	220	メーター交換連絡票印刷、給水台帳印刷代	23	研修費	687	職員研修費
12	通信運搬費	9,874	専用回線、施設電話料等	25	負担金	6,593	退職手当負担金等
13	委託料	68,736	漏水調査業務、上水道台帳GIS更新業務等、検定満期量水器取替業務、緊急修理待機業務等	35	工事請負費	10,670	量水器・給水管等移設工事、洗管設備設置工事 消火栓等移設工事
14	手数料	508	保菌検査、公用車法定点検手数料等	その他		100,348	給料、手当、法定福利費、報酬、被服費、公課費、報償費、材料費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	漏水調査業務	穂高地域の漏水調査を実施し、漏水箇所 の早期発見修理により、水道水の流失を防 ぎ、有収率の向上を図ります。	13	委託料	6,600	
					計	6,600	
2							
					計	0	

予算書ページ	28
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	総係費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	175,344					175,344
前年度	175,371					175,371
増減額	△ 27	0	0	0	0	△ 27

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・水道事業経営全般にかかる一般管理費です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	給料	23,600	職員給料	13	委託料	96,963	上下水道料金徴収業務、企業会計システム保守等
5	報酬	175	上下水道事業経営審議会委員報酬	14	手数料	6,358	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料、窓口取扱手数料等
6	旅費	30	職員研修・出張旅費	15	賃借料	6,988	上下水道料金システム使用料、本庁舎・堀金支所建物等使用料、企業会計システム使用料等
7	被服費	32	作業着等	16	修繕費	220	ハンディターミナル修理
8	備消耗品費	1,212	一般事務用品、コピー用紙、新聞代等	23	研修費	171	職員研修費
11	印刷製本費	4,887	料金・経理関係用紙等印刷	25	負担金	6,034	本庁舎・堀金支所管理経費、日本水道協会正会員費、長野県水道協議会会費、退職手当負担金等
12	通信運搬費	6,175	後納郵便料等、コンビニ収納通信電話料、直通電話料	その他		22,499	手当、法定福利費、法定福利費引当金繰入額、賞与引当金繰入額、貸倒引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	収納率向上対策	料金センターとの連携により催告及び徴収方法を指示し、徴収率を上げていく。移転未収や納付について連絡のない滞納者へは訪問徴収や法的措置を進め、滞納額の縮減を図ります。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により上下水道事業経営を安定的に維持します。	13	委託料	96,963
				14	手数料	9
				23	研修費	171
					計	97,143
2					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	減価償却費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,054,114				283,785	770,329
前年度	1,051,591				265,068	786,523
増減額	2,523	0	0	0	18,717	△ 16,194

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	283,785							

【目的・効果】

・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するものです。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化しています。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
51	有形固定資産減価償却費	1,054,114	建物、構築物、機械及び装置、車輛及び運搬具、工具・器具・備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当
上水道課 管理係

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	資産減耗費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	44,805					44,805
前年度	27,241					27,241
増減額	17,564	0	0	0	0	17,564

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- ・固定資産が使用によって減失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、帳簿価額を除くことを除却といいます。除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上します。
- ・建物など取り壊しに要する費用は固定資産除却費として計上します。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・三郷旧小倉中区配水池解体工事

【一般財源増加理由】 三郷旧小倉中区配水池解体工事等による増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
53	固定資産除却損	8,164	構築物、機械及び装置除却損				
54	固定資産除却費	36,641	三郷旧小倉中区配水池解体工事等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
				計		0
2						
				計		0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	68,462					68,462
前年度	80,765					80,765
増減額	△ 12,303	0	0	0	0	△ 12,303

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・建設改良費に充てるため借入れた企業債の支払利息です。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
58	企業債利息	68,462	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	消費税及び地方消費税		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,000					1,000
前年度	42,071					42,071
増減額	△ 41,071	0	0	0	0	△ 41,071

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
・水道事業に係る消費税及び地方消費税です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
64	消費税及び地方消費税	1,000	水道事業消費税及び地方消費税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	過年度損益修正損		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,001					2,001
前年度	1,500					1,500
増減額	501	0	0	0	0	501

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・漏水修理減免申請により、過年度水道料金調定額に調定更正が発生した場合に費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
68	過年度損益修正損	2,001	過年度水道料金修正損(調定更正発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	その他特別損失		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・不納欠損額が貸倒引当金取崩額を超過した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
70	その他特別損失	1	不納欠損(貸倒引当金取崩額超過分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	34
--------	----

課・係等	上水道課 工務係 維持係
------	-----------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	配水設備工事費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源					一般財源		
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	企業債	一般会計出資金	分担金	工事負担金	一般財源
1,462,732	1,039,687	423,045	0		150,000	0		32,640	1,280,092
			61,017		0			70,628	908,042
			△ 61,017	0	150,000	0	0	△ 37,988	372,050

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	企業債	150,000							182,640
	1	工事負担金	32,640							

【目的・効果】

【目的】

- ・拠点配水池に接続する導・送水管及び、重要給水施設への配水管の更新を図ります。
- ・老朽化した水道施設の更新・改修・耐震化等を計画的に推進し、安心で安全な水道水の供給を図ります。

【効果】

- ・管路を耐震管にすることにより、災害時に重要給水施設へ確実に水道水の供給が図れます。
- ・漏水等が解消され有収率の改善が見込めます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・濁度計設置工事：(穂高上原)
- ・主要管路整備：(堀金)DIPφ100~200 L=1,200m
- ・豊里水源対策：(穂高)DIPφ200 L=890m 送水ポンプ設備 一式
- ・配水管(老朽)布設替工事：(豊科)HPPE φ150他 1路線 L= 52m (穂高)DIPφ150外・HPPEφ50~75 4路線 L=1,430m 他

【一般財源増加理由】 水道ビジョンに基づき老朽化した施設の更新が必要のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	79,530	主要管路布設等工事設計業務、穂高豊里整備事業設計業務、既存管路(老朽管)布設替等工事設計業務等、既存施設更新設計業務				
14	手数料	51	建築確認申請手数料				
25	負担金	50,600	舗装復旧負担金等				
30	路面復旧費	54,120	路面復旧工事				
35	工事請負費	1,278,431	主要管路布設替等工事、既存管路(老朽管)布設替等工事、既存施設更新事業、負担金工事等、濁度計設置工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	主要管路整備事業	拠点配水池に接続する導送水管や重要給水施設への配水管を耐震化することにより、確実に水を供給することができます。	13	委託料	26,070
				35	工事請負費	133,760
					計	159,830
2	ハード	濁度計設置事業	地震発生時に井戸の濁水を感じし、取水を制限することができ、濁りのない安定した水を確保することができます。	35	工事請負費	37,510
					計	37,510

予算書ページ	34
--------	----

課・係等	上水道課 管理係
------	----------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	量水器費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,101					1,101
前年度	1,100					1,100
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・新たに水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用です。

【当該年度の事業概要(手法)】

・340個の量水器を購入します。

【内訳】

・φ13 330個（豊科80個、穂高140個、三郷80個、堀金20個、明科10個）

・φ20 10個（豊科5個、穂高5個）

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
34	量水器費	1,101	新設メーター購入費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	34
--------	----

課・係等	上水道課 管理係
------	----------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	改良費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	295					295
前年度	295					295
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・新たにφ75mm以上の水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用です。

【当該年度の事業概要(手法)】

・φ75mm以上の量水器を2個購入します。

【内訳】

- ・φ75 1個 (遠隔フランジ式 豊科1個)
- ・φ100 1個 (遠隔フランジ式 豊科1個)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
77	工具機械器具改良費	295	大口径新設メータ購入費(φ75mm以上)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	34
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	企業債償還金		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	企業債償還金		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	568,685					568,685
前年度	584,514					584,514
増減額	△ 15,829	0	0	0	0	△ 15,829

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債の償還金です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
61	企業債元金償還金	568,685	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

安曇野市下水道事業会計

予算書ページ	62
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	管きよ費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,175,726	9,845	0	0	0	1,165,881
前年度	1,142,026	0	0	0	0	1,142,026
増減額	33,700	0	0	0	0	23,855

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	国庫補助金		9,845						

【目的・効果】

【目的】

・下水道管路施設の維持管理を行い、衛生的で快適な生活環境を提供するため。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・市が管理する下水道管きよ施設の維持管理を委託します。(明科浄化センター及び農業集落排水施設を含めた総合一括管理委託)
- ・長野県が管理する犀川安曇野流域下水道に係る維持管理費の一部を負担します。
- ・前年度の管路等新設箇所のデータを下水道台帳に登録するための業務を委託します。
- ・管路及びマンホールポンプ場の改築更新を計画的に進めるため、ストックマネジメント実施方針を策定します。
- ・下水道施設の維持補修を行います。

【一般財源増加理由】 ストックマネジメント実施方針の策定業務委託の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
6	旅費	378	職員研修・出張旅費、会計年度任用職員通勤費	15	賃借料	396	積算システム利用料、下水道用地賃借料、高速道路使用料
8	備消耗品費	212	積算関係図書等	16	修繕費	17,810	管きよ施設修繕、車検等整備代
9	燃料費	754	公用車燃料代	19	保険料	174	自動車損害共済、自賠責保険料
11	印刷製本費	535	マンホールカード印刷、排水設備確認申請書印刷	20	公課費	62	自動車重量税
12	通信運搬費	165	直通電話及び携帯電話使用料	23	研修費	397	職員研修費
13	委託料	129,270	下水道処理施設等維持管理業務、下水道施設広域監視業務、下水道台帳データ更新業務、ストックマネジメント実施方針策定業務等	25	負担金	975,183	流域下水道維持管理負担金等
14	手数料	305	公用車車検・法定点検手数料	その他		50,085	給料、手当、法定福利費、報酬、被服費、材料費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容及効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道施設維持管理事業(業務委託)	公共下水道の管路・マンホールポンプ場の維持管理業務を専門知識を有する者へ委託することにより、適切な汚水流下能力が確保されます。	13	委託料	89,430
					計	89,430
1	ソフト	流域下水道維持管理負担金事務	流域下水道施設の維持管理費を負担することで、安定した事業運営がなされます。	25	負担金	971,494
					計	971,494

課・係等 下水道課 下水道担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	処理場費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	54,168	0	0	0	0	54,168
前年度	44,301	0	0	0	0	44,301
増減額	9,867	0	0	0	0	9,867

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・明科浄化センターの維持管理を行い、衛生的で快適な生活環境を提供するため。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・明科浄化センターの維持管理を委託します。(下水道管路施設及び農業集落排水施設を含めた総合一括管理委託)
- ・明科浄化センターの汚泥運搬処理を委託します。
- ・明科地域下水道施設統廃合事業により、今後汚水処理施設としての機能を喪失する明科浄化センターの後利用に係る基本設計業務を委託します。

【一般財源増加理由】 浄化センター後利用実施設計委託料の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	54,025	処理施設等維持管理業務、脱水汚泥処分業務等、明科浄化センター後利用基本設計業務				
19	保険料	143	明科浄化センター建物共済				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道施設維持管理事業(業務委託)	明科浄化センターの維持管理業務を専門知識を有する者へ委託することにより、適切に汚水が処理できます。	13	委託料	35,420
					計	35,420
2					計	0

予算書ページ	64
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	浄化槽費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,118	0	0	0	0	2,118
前年度	2,284	0	0	0	0	2,284
増減額	△ 166	0	0	0	0	△ 166

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・豊科大口沢地区の特定地域生活排水処理施設(市町村設置型合併処理浄化槽)を適正に維持管理するため。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・施設の保守点検を委託します。
- ・法定点検及び汚泥の汲み取りを行います。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	457	合併処理浄化槽保守点検業務				
14	手数料	711	汚泥汲み取り料、合併浄化槽法定検査手数料等				
16	修繕費	535	処理槽等修繕				
25	負担金	336	大口沢浄化槽組合負担金				
32	薬品費	79	浄化槽放流水滅菌剤等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	64
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	農業集落排水費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	59,538	0	0	0	0	59,538
前年度	59,734	0	0	0	0	59,734
増減額	△ 196	0	0	0	0	△ 196

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・明科地域の農業集落排水処理施設の維持管理を行い、衛生的で快適な生活環境を提供するため。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】

・農業集落排水の処理場及び管路施設の維持管理を委託します。(公共下水道施設を含めた総合一括管理委託)
 ・4箇所(押野、川西、中村、生野)の処理場から発生する汚泥の引抜運搬処理を委託します。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	58,379	処理施設等維持管理業務、下水道施設広域監視業務、汚泥引抜運搬業務、ストックマネジメント実施方針策定業務委託				
14	手数料	133	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料等				
16	修繕費	946	管路等補修				
19	保険料	80	処理場建物共済				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	下水道施設維持管理事業(業務委託)	農業集落排水施設の維持管理業務を専門知識を有する業者へ委託をすることにより、適切な汚水流下能力の確保と汚水処理がされます。	13	委託料	44,770	
					計	44,770	
2							
					計	0	

予算書ページ	64
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	受託工事費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	26,466	0	0	0	26,466	0
前年度	7,287	0	0	0	7,286	1
増減額	19,179	0	0	0	19,180	△1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	受託工事収益	26,466							

【目的・効果】

【目的】

・道路工事等公共事業の推進に寄与するため。

【効果】

・道路工事の支障となる下水道施設の移設を先行させることにより、公共事業が円滑に進められます。

【当該年度の事業概要(手法)】

・道路工事の事業主体との協議により、支障となる管きょ・公共ます・マンホール等の移設、撤去、高さ調整等を行います。

【一般財源増加理由】 国道19号歩道整備に係る移転物件の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
16	修繕費	26,466	下水道施設移転補償工事等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	64
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	総係費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	129,979	0	0	0	0	129,979
前年度	118,815	0	0	0	0	118,815
増減額	11,164	0	0	0	0	11,164

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業経営全般にかかる一般管理費です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	給料	10,140	職員給料	13	委託料	11,000	企業会計システム保守
2	手当	3,854	職員手当	14	手数料	4,760	
6	旅費	30	職員研修・出張旅費等	15	賃借料	1,748	
7	被服費	32	作業着等	22	報償費	1,926	
8	備消耗品費	150	一般事務用品等	23	研修費	137	職員研修費
11	印刷製本費	2,016	料金・経理関係用紙等印刷	25	負担金	83,650	日本下水道協会会費、本庁舎管理経費、使用料徴収業務委託事務負担金等
12	通信運搬費	2,861	接続率向上ダイレクトメール郵送料、後納郵便料、料金受取人払郵便料	その他			法定福利費、報酬、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額、貸倒引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	水洗化率向上対策	未接続者へのダイレクトメールの発送等により下水道接続促進に取り組み、水洗化率向上を目指し、使用料収入の増加に努めます。	12	通信運搬費	310	
					計	310	
2	ソフト	収納率向上対策	訪問折衝や催告を積極的に行いながら、納付や連絡のない滞納者は滞納処分を進め、滞納額の縮減を図ります。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により下水道事業経営を安定的に維持します。	12	通信運搬費	161	
				14	手数料	324	
				23	研修費	136	
		計	621				

予算書ページ	66
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	7	減価償却費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,858,717	0	0	0	763,159	1,095,558
前年度	1,858,979	0	0	0	764,645	1,094,334
増減額	△ 262	0	0	0	△ 1,486	1,224

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	763,159							

【目的・効果】

・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するものです。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化しています。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 長期前受金戻入額の減少による増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
51	有形固定資産減価償却費	1,675,397	建物、構築物、機械及び装置、工具・器具・備品				
52	無形固定資産減価償却費	183,320	流域下水道施設利用権				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	66
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当 下水道課 下水道担当
------	--------------------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	8	資産減耗費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,606	0	0	0	0	1,606
前年度	4,443	0	0	0	0	4,443
増減額	△ 2,837	0	0	0	0	△ 2,837

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- ・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、帳簿価額を除くことを除却といいます。除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上します。
- ・建物など取り壊しに要する費用は固定資産除却費として計上します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 固定資産除却の増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
53	固定資産除却損	449	構築物、機械及び装置				
54	固定資産除却費	1,157	構築物・公共ます撤去費用				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	68
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	362,383	0	0	0	0	362,383
前年度	396,342	0	0	0	0	396,342
増減額	△ 33,959	0	0	0	0	△ 33,959

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	細節名称		細節名称		細節名称		0

【目的・効果】

- ・建設改良費に充てるため借入れた企業債及び資本費平準化債の支払利息です。
- ・一時借入金の支払利息です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
58	企業債利息	362,224	定期償還分、資本費平準化債分				
59	借入金利息	159	一時借入分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	68
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	消費税及び地方消費税		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	42,075	0	0	0	0	42,075
前年度	41,477	0	0	0	0	41,477
増減額	598	0	0	0	0	598

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・下水道事業に係る消費税及び地方消費税です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
64	消費税及び地方消費税	42,075	下水道事業消費税及び地方消費税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	68
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	過年度損益修正損		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	601	0	0	0	0	601
前年度	550	0	0	0	0	550
増減額	51	0	0	0	0	51

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 ・水道の漏水修理減免申請により、過年度下水道使用料調定額に調定更正が発生した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
68	過年度損益修正損	601	過年度下水道使用料修正損(調定更生発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	68
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	その他特別損失		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・不納欠損額が貸倒引当金取崩額を超過した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
70	その他特別損失	1	不納欠損(貸倒引当金取崩額超過分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	72
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	管きよ工事費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	555,621	255,255	0	164,400	118,500	17,466
前年度	578,655	280,500	0	142,000	140,200	15,955
増減額	△ 23,034	△ 25,245	0	22,400	△ 21,700	1,511

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	下水道事業債		164,400						
3	国庫補助金		255,255							
3	他会計出資金		118,500							

【目的・効果】

【目的】

・健全で効率的な施設整備により、衛生的で快適な生活環境を実現するため。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質保を図ることができます。
 ・汚水処理区域の広域化及び既存ストックの長寿命化を進めることにより、施設の修繕費や改築更新費が縮減され、健全かつ効率的な事業運営が見込まれます。

【当該年度の事業概要(手法)】

・明科地域の下水道処理施設統廃合により、公共下水道明科処理区と農業集落排水生野地区の汚水を、犀川安曇野流域下水道の幹線管渠へ接続する工事を行います。
 ・下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、マンホールポンプの更新工事を行います。

【一般財源増加理由】 市単事業の増加に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	21,945	下水道施設統廃合事業現場技術業務(積算、監督)				
35	工事請負費	522,126	下水道施設統廃合事業接続管路工事、下水道施設改築更新事業マンホールポンプ更新工事等				
37	補償費	11,550	下水道施設統廃合事業上水道補償				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	下水道施設統廃合事業	明科地域の下水道処理施設を段階的に統廃合し、汚水処理の広域化を図ります。	13	委託料	15,950
				35	工事請負費	449,900
				37	補償費	8,250
					計	474,100
2	ハード	下水道施設改築更新事業	老朽化した施設の改築更新を行い、施設の長寿命化を図ります。	35	工事請負費	36,410
					計	36,410

予算書ページ	72
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	農業集落排水工事費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	15,334	6,500	0	0	0	8,834
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	15,334	0	0	0	0	8,834

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
		3	国庫補助金	6,500						

【目的・効果】

【目的】

・健全で効率的な施設の維持管理により、衛生的で快適な生活環境を実現するため。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】

・押野地区の管路、処理施設等の老朽化対策に係る概要書策定業務を委託します。併せて、川西浄化センター内の劣化状況を把握するため詳細調査業務を委託します。

【一般財源増加理由】 今年度から開始する事業であるため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	15,334	押野地区計画概要書作成業務、川西地区処理施設詳細調査業務				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

課・係等 下水道課 下水道担当

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	流域下水道事業費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	94,278	0	0	89,800	0	4,478
前年度	115,747	0	0	122,500	0	△ 6,753
増減額	△ 21,469	0	0	△ 32,700	0	11,231

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	下水道事業債		89,800						

【目的・効果】

・長野県が施行する犀川安曇野流域下水道事業に係る建設改良費の一部を負担金として支出します。（流域下水道事業費から国費を除く地方負担額のうち、事業主体である長野県が50%、地元自治体である安曇野市と松本市が残り50%を負担します。）

【当該年度の事業概要(手法)】

令和6年度流域下水道事業(安曇野市負担額)

交付金事業	
中継ポンプ場耐水化工事（水質保全(低率)）	8,600 千円
終末処理場耐水化工事（水質保全(高率)）	15,499 千円
管廊耐震化工事（地震対策(高率)）	29,997 千円
消化タンク増設予備設計（資源水質(低率)）	2,500 千円
交付金事務費	33,333 千円
県単事業（事業計画修正業務等）	4,349 千円

計 94,278 千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額
25	負担金	94,278	犀川安曇野流域下水道建設負担金			

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	72
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	排水設備工事費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	704	0	0	0	0	704
前年度	964	0	0	0	0	964
増減額	△ 260	0	0	0	0	△ 260

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・井水メーターを設置し、井戸利用者の汚水排除量を計量するため。

【効果】

・井戸利用者の汚水排除量を的確に把握することで、下水道使用料の算定に反映させることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】

・井水メーター購入及び設置工事を行います。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
34	量水器費	36	井水メーターφ13～φ75				
35	工事請負費	668	新規井水メーター設置工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	企業債償還金		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	企業債償還金		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,502,951	0	0	655,000	0	1,847,951
前年度	2,518,431	0	0	684,000	0	1,834,431
増減額	△ 15,480	0	0	△ 29,000	0	13,520

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	資本費平準化債	655,000							

【目的・効果】

・建設改良費に充てるため借入れた企業債及び資本費平準化債の償還金です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
61	企業債元金償還金	2,502,951	定期償還分、資本費平準化債分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

